

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年12月24日（金）17:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから12月24日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

今回の広報日程は、来週と年明け第1週目まで書いていますけれども、会合の類いは、1月5日の原子力規制委員会の定例会と臨時会議だけということになっています。

1月5日の定例会の議題は3つあります。

1つ目が、原子力発電所の新規制基準適合性審査の状況ということで、これは四半期に一回の定例の審査状況の報告ということになります。

議題の2つ目ですけれども、日本原子力何とかと長々と書いていますが、要すれば東海再処理ですけれども、東海再処理の廃止措置の状況の報告でございます。

これは10月6日の委員会で、東海再処理の廃止措置の状況を改めて報告するようにという指示があったことを含めまして報告をするというものになります。

中身の詳細は、東海再処理のほうの監視チームで報告されているとおりで、特に新しいものということではないですけれども、ガラス固化は運転中断をして、いつ頃再開ですみたいな話とか、固体廃棄物を水中で貯蔵している貯蔵庫の管の取り出しの方法を考えていますと、そういったようなことが改めて報告されるということになります。

議題の3つ目が、令和4年度の当初予算案等の概要ということで、これは昨日のブリーフィングでも説明をしたとおり、今日閣議決定された来年度予算と組織定員について説明をするというものであります。中身は昨日ブリーフィングしたものと同一ということになります。

次に、午後の臨時会議。これは九州電力の経営層との意見交換ということになります。

九州電力からは、池辺社長と豊嶋原子力発電本部長が参加されるということになっております。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってか

ら質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—